

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年9月11日
【四半期会計期間】	第107期第1四半期（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）
【会社名】	アジアグロースキャピタル株式会社
【英訳名】	ASIA GROWTH CAPITAL, LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小川 浩平
【本店の所在の場所】	東京都港区高輪二丁目15番8号
【電話番号】	03(3448)7300
【事務連絡者氏名】	総務部長 岩瀬 茂雄
【最寄りの連絡場所】	東京都港区高輪二丁目15番8号
【電話番号】	03(3448)7300
【事務連絡者氏名】	総務部長 岩瀬 茂雄
【縦覧に供する場所】	株式会社 東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年2月21日に提出した有価証券届出書に記載し、かつ、平成27年6月26日に提出いたしました第106期有価証券報告書及び平成27年9月11日に提出いたしました当該有価証券報告書の訂正報告書で変更いたしました「手取金の使途」の一部について、平成27年4月24日に変更が生じておりましたが、かかる変更の内容を平成27年8月10日に提出いたしました第107期第1四半期報告書（自平成27年4月1日至平成27年6月30日）に記載していなかったことから、これを記載すべく四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(5) 発行済株式総数、資本金等の推移

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日	-	78,159,666	-	1,604,617	-	1,286,229

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日	-	78,159,666	-	1,604,617	-	1,286,229

(注)平成26年2月21日に提出した有価証券届出書に記載し、かつ、平成27年6月26日に提出いたしました第106期有価証券報告書及び平成27年9月11日に提出いたしました当該有価証券報告書の訂正報告書で変更いたしました「手取金の使途」(以下「資金使途」といいます。)について下記のとおり変更が生じております。

(本件変更の内容)

<変更前>

当社は、平成26年5月15日開催の株式会社ディーワンダーランド(以下「DW」といいます。)株式の公開買付けに係る取締役会において、ライセンス・オフリングにより調達した資金(資金発行諸費用を控除した調達資金総額1,659百万円)が、平成25年1月に発行を決議した第12回新株予約権による調達額のうち対象者株式の取得資金に充当予定であった約507百万円のうち未使用額約357百万円(差額の150百万円は、前回公開買付けの買付代金に充当しております)を公開買付けの買付代金約2,072百万円から控除した金額(約1,715百万円)に約56百万円満たないものの、係る約56百万円を当社の従前の手持ち資金から充当することにより、DW株式の100%(又は100%に近い)取得を目的として調達資金総額1,659百万円を平成26年7月にて全額DW株式取得資金に充当することを想定しておりました。しかし、DW株式の100%取得を目指した公開買付けにおいて、DWの株主のうち一部の方には応募頂けなかったため、上記調達資金総額1,659百万円のうち、約10億円(以下、「本件未使用資金」といいます。)が本公開買付けの決済資金に充当されないこととなりました。

そのため、当社は、平成26年7月4日開催の取締役会において、改めて本件未使用資金の資金使途について検討し、その全額につき、当社とDW間の資本・業務面を含む提携関係をさらに強化するための資本政策における活用への充当を、本件未使用資金の資金使途とすることといたしました。しかしながら、当社は平成27年2月27日時点まで、本資本政策について鋭意種々検討してまいりましたが、当該時点においても、本資本政策の詳細について具体的な決定には至っておりません。しかし、本件未使用資金のうち、以下に記載の当社運転

資金に充当する資金以外につきましては、引き続き、本資本政策のために使用していく所存です。本資本政策に関する詳細が決定次第、あらためてお知らせいたします。

他方で、電機事業仕入れ代金及び一般経費に充当するための平成26年9月から平成27年7月までの必要資金（以下、「運転資金」といいます。）205百万円につきましては、ライツ・オフリングにより調達できませんでしたので、その後調達方法を検討してまいりました。上述のとおり、当社は現在も本資本政策の詳細について引き続き検討中であり、その内容が確定するまでは、当社の資金調達の方針を大局的に決定することは困難であるため、当面の対応として、平成26年12月19日開催の取締役会決議において本件未使用資金約10億円のうち1億円を平成26年10月から平成27年2月までを充当期間として運転資金に、更に、平成27年2月27日開催の取締役会決議において6千万円を平成27年3月から平成27年4月までを充当期間として運転資金に充当することといたしました。

<変更後>

当社は、ライツ・オフリングにより調達した資金（資金発行諸費用を控除した調達資金総額1,659百万円）に係る資金使途としては、DW株式の100%取得を想定しておりました。しかし、DW株式の100%取得を目指した公開買付けにおいて、DWの株主のうち一部の方には応募頂けなかったため、上記調達資金総額1,659百万円のうち、約10億円（以下、「本件未使用資金」といいます。）が本公開買付けの決済資金に充当されないこととなりました。

そのため、当社は、平成26年7月4日開催の取締役会において、改めて本件未使用資金の資金使途について検討し、その全額につき、当社とDW間の資本・業務面を含む提携関係をさらに強化するための資本政策における活用への充当を、本件未使用資金の資金使途とすることといたしました。しかしながら、当社は平成27年4月24日時点まで、本資本政策について鋭意種々検討してまいりましたが、当該時点においても、本資本政策の詳細について具体的な決定には至っておりません。但し、同日開催の取締役会において、本件未使用資金のうち1億円程度について、充当期間を平成27年4月から平成27年9月までとし、本資本政策、事業再編、資本・業務提携、M&A等の各種の事業戦略の可能性を両社で具体的に検討するための当面の諸費用（以下「事業戦略検討諸費用」といいます。なお、DW側で最終的に負担すべき諸費用の一時的な立替分（以下「本立替分」といいます。）を含みます。）に充当することといたしました。本件未使用資金のうち、事業戦略検討諸費用（本立替分は除きます。）及び以下に記載の当社運転資金に充当する資金以外につきましては、引き続き、本資本政策のために使用していく所存です。本資本政策に関する詳細が決定次第、あらためてお知らせいたします。

他方、平成26年12月19日及び平成27年2月27日開催の取締役会において、本件未使用資金約10億円のうち1億円（充当期間は平成26年10月から平成27年2月まで）及び6千万円（充当期間は平成27年3月から平成27年4月まで）をそれぞれ当社の運転資金として充当することとしておりますが、平成27年4月24日開催の取締役会において、さらに1億円を平成27年5月から平成27年9月までを充当期間として運転資金に追加充当することとしております。

上記の結果、平成27年9月末時点における本件未使用資金の資金使途変更後の残額は次のようになる見込みです。

当初残高		約10億円
平成26年10月～平成27年2月	運転資金に充当	1億円
平成27年3月～平成27年4月	運転資金に充当	6千万円
平成27年5月～平成27年9月	運転資金に充当	1億円
平成27年4月～平成27年9月	事業戦略検討諸費用に充当	1億円（ ）
平成27年9月末残高（予想）		約6.4億円

（ ）但し、事業戦略検討諸費用のうち本立替分については、平成27年9月以降にてDWから受ける見込みです。